

## <概要>

2007年にロシア連邦原子力庁（Minatom）は、国営原子力企業ロスアトム（Rosatom）に再編成された。ロスアトムの使命は、原子力開発利用の管理統一、原子力産業の育成、核兵器システムの安全管理、放射性物質と放射線の管理および安全保障である。また、原子力の平和利用、核不拡散関連の活動も進める。原子力の民生と軍事利用および安全保障が一体化して運営される。2009～2015年の長期計画が策定されており、2009年1月1日から実施に移された。計画遂行のため、約2兆ルーブル（780億米ドル）の資金を計画している。アトムネルゴプロム

（atomenergoprom）は、ロスアトムが100%の株を保有する株式会社で、ウラン採掘から電力生産まで核燃料サイクル全体を含み、経験と競争力を持った世界の最大企業の一つといえる。

## <更新年月>

2009年01月

## <本文>

### 1. 経緯

1991年のソ連の解体後、1992年にロシア連邦に原子力省（Minatom）が成立した。2004年には組織を再編し、ロシア連邦原子力庁（Rosatom）に変わった。2007年に、ロシア原子力庁は、再度再編され国営原子力企業ロスアトム（Rosatom：Federal Agency for Atomic Energy）となった。

### 2. ロスアトム（Rosatom）の使命・計画とアトムネルゴプロム（atomenergoprom）

#### （1）ロスアトムの使命

ロスアトムは、ロシア連邦の原子力の発展の為に設立された。使命は、原子力開発利用の管理統一、原子力産業の育成、核兵器システムの安全管理、放射性物質と放射線の管理および安全保障である。更に、原子力の平和利用、核不拡散関連の活動が含まれる。原子力の民生と軍事利用および安全保障が一体化している。図1は組織を示す。監督委員会は社長を含め、大統領に任命される。社長の下に、6人の副社長が居て20の部局を担当する。

2009年から2015年までの長期計画が策定されており、計画は2009年1月1日からそれまでの計画を廃して実施に移された。計画遂行のため、約2兆ルーブル（780億米ドル）の資金を計画している。

#### （2）2009～15計画の概要

詳細な計画は発表されていないが、ホームページの記事や、プーチン首相の講演から次のような計画の輪郭がうかがえる。

- 1）民生利用、軍事利用、および安全保障の一体的運営
- 2）民生利用と軍事利用の調整
- 3）ロスアトムによる原子力関連資産の一括管理
- 4）原子力と放射線安全の向上、  
近年は事故も減少し、安全性は日本に次いで2位、既に欧米より優れる
- 5）原子力関連の科学の発展と技術の向上、  
高速炉技術開発の推進、国立原子力大学（仮称）の創立、原子力教育への貢献
- 6）原子力利用の発展

ロシアの現有商用炉は、図2に示すように、高速炉1基を含め31基となっている。今後2016年までに26基の原子力発電所の新設を予定しており、電力のうち原子力発電の割合を現在の16%から

先進国並みの38%くらいまで上げる計画となっている。また、発電船、砕氷船等への原子力利用を図る。

7) 核不拡散、安全と平和利用の国際協力

8) 技術力の統合管理

関連会社「アトムネルゴプロム (atomenergoprom)」により、ウランの採掘、燃料製造、発電所建設、発電までの技術の統合、原子力の国際的競争力の強化

(3) アトムネルゴプロム (atomenergoprom)

アトムネルゴプロムは2007年に創立された。ロスアトムが100%の株を保有する株式会社となっている。ウラン採掘から電力生産まで核燃料サイクル全体を含み、経験と競争力を持った世界の最大企業の一つとなり、総職員は19万3千人以上になる。

当社は、原子力分野の核燃料会社「トベル」(TVEL)、濃縮ウラン輸出の「テクスナブエクスポルト」(TENEX)、「アトムレドメトゾロト」、「アトムエネルゴマーシ」、国立濃縮企業、研究所、原子機械工業等の民間企業の89を統合している。

当社の資源・技術力は、ウラン貯蔵は世界2位、ウラン採掘は世界5位、濃縮ウランサービスのシェア40%、燃料生産の世界市場シェア17%、12基の原子力発電所建設、ガス遠心分離技術、機械工業技術等30以上の研究開発力と組織にある。2007年の売上高は80億ユーロ以上で、国外には、これまで、インドのクダンクラム発電所に2基の原子炉、イランのブシェール発電所に1基、ブルガリアのベレネ発電所に2基の販売実績を持つ。

---

### <関連タイトル>

[ロシアの原子力政策 \(14-06-01-01\)](#)

[ロシアの原子力発電開発 \(14-06-01-02\)](#)

[ロシアの原子力開発体制 \(14-06-01-03\)](#)

[ロシアの原子力安全規制体制 \(14-06-01-04\)](#)

[ロシアの核燃料サイクル \(14-06-01-05\)](#)

[ロシアの電気事業および原子力産業 \(14-06-01-06\)](#)

---

### <参考文献>

(1) Nuclear Ru.“Government approved Rosatom activity program for 2009–2015”,

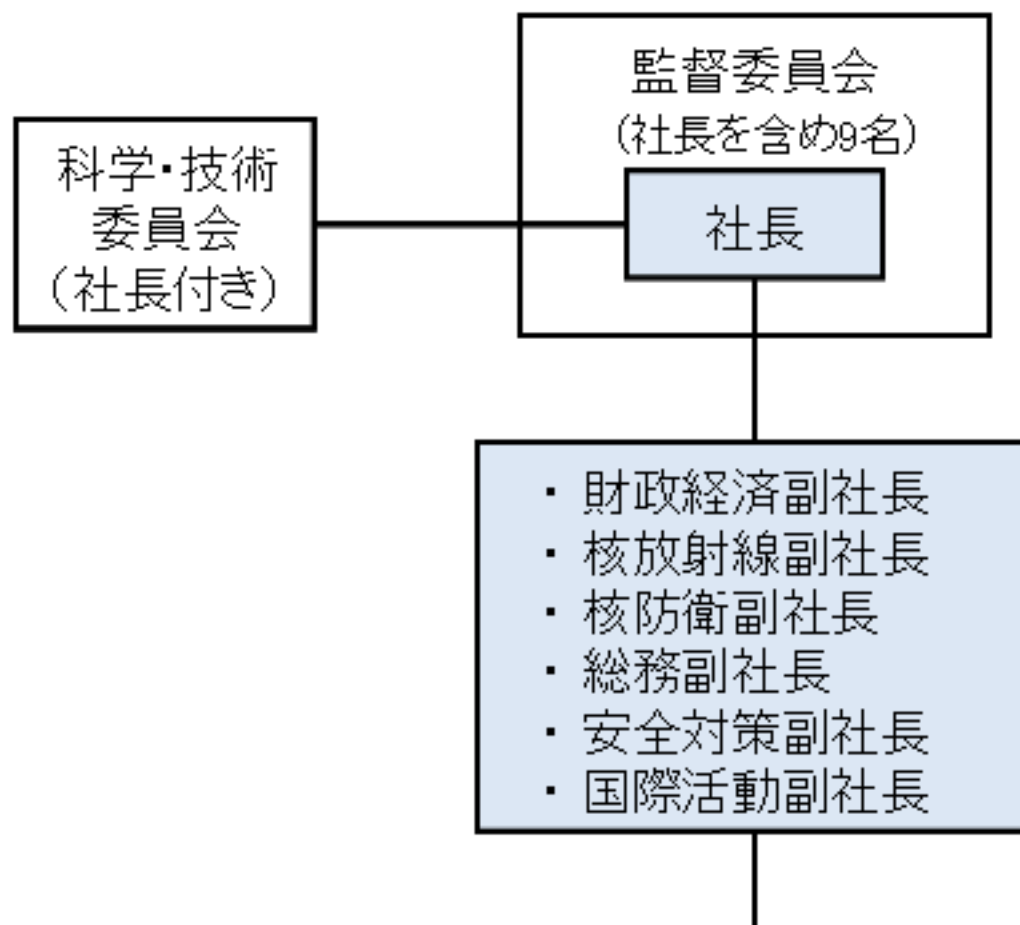
(2) ロシア：ロシアの国営原子力企業「ロスアトム」について

(3) ロシア：原子力分野発展協議会におけるプーチン首相の開会の辞

(4) ロシア：「アトムネルゴプロム」株式会社

(5) ロシア：ロシア原子力発電所情報

---



(1) 管理局、(2) 原子力産業局、(3) 内部監査局、(4) 国家秘密諜報守護局、  
(5) 企業管理発展局、(6) 国際協力局、(7) 監視・経済予測・予算計画局、  
(8) 科学研究所局、(9) 使用済燃料・放射線廃棄物処理・核放射線危険設備運転停止局、  
(10) 社会組織及び地方協力局、(11) 法律制定活動局、(12) 報道局、  
(13) 核弾薬産業局、(14) 核弾薬軍需及びエネルギー設備開発実験局、  
(15) 戦略計画局、(16) 総務財産管理局、(17) スタッフ管理局、(18) 財務会計局、  
(19) 核物質局、(20) 核放射線安全及びライセンス許可活動管理局

下記の出所をもとに作成した

## 図1 ロスアトム(Rosatom)の組織とロゴ

[出所]ロシア:ロシアの国営原子力企業「ロスアトム」について、  
<http://www.minatom.ru/i/FileStorage/j2—Rosatom.pdf>

VVER: 加圧水型炉  
RBMK: 黒鉛減速沸騰水型炉  
EGP-6: 熱供給用の黒鉛減速沸騰水型炉  
BN: 高速増殖炉



下記の出所をもとに作成した

## 図2 ロスアトム(Rosatom)の現有商用炉(2008年)

[出所]ロシア:ロシア原子力発電所情報、<http://www.minatom.ru/i/FileStorage/j6-NPP-Information.pdf>